



## 語り合う会 in東京 —ひとつの現場からわたしたちの現場へ—

子どもの日本語教育研究会では、多様な言語文化背景をもつ子どもたちを対象とする日本語教育・学校教育・地域支援の実践と研究の相互交流を図り、その現場の成長と関連領域の研究の発展を促進することを目指しています。

このシリーズでは、実践から学び、新たな実践・研究につなげていくために、実践者が何をどのように伝えようとしたのか、それは多様な立場の受け手にどう伝わっているのか、実践者・受け手はそれぞれどのような視点をもってその実践を見ているのかを対話の中で再確認することにより、その「実践の意味」をより深く考えていきたいと思ひます。

今回は、学校教員による外国につながる子どもへの日本語指導について、日本語指導員と新任学校教員の意識の違いに着目した調査についてお聞きし、参加者の皆さんがディスカッションをしながら、ともにこの調査の意味を探り、自分の現場へつなげていくことを目指します。外国人児童生徒等への指導・支援に関わっている皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時: 2024年12月1日(日) 13:00-16:00
- 会 場: 武蔵野大学(有明キャンパス) 5号館2階 5-201教室
- 参加費: 500円(資料代含む)
- 定 員: 40名



<https://www.musashino-u.ac.jp/ariake/>



## プログラム

13:00~13:15 開会・趣旨説明

13:15~13:25 アイスブレイキング

13:25~14:00 発題

「学校教員による外国につながる子どもへの日本語指導に必要なこととは何か  
—日本語指導員と新任学校教員の意識の違いに着目して—」

松隈杏梨(早稲田大学大学院)

14:00~14:20 グループディスカッション

14:20~14:30 休憩

14:30~15:30 ディスカッション

15:30~15:50 振り返り(グループで)

15:50~16:00 閉会

★お願い★

ディスカッションを行うため、URL(QRコード)の実践報告を事前にお読みの上  
ご参加ください。

<https://x.gd/dYEof>



お申込み

こくちーずよりお申込みください

[https://kokoc.jp/e/katariai\\_tokyo1/](https://kokoc.jp/e/katariai_tokyo1/)

● お申込受付: 10月14日(月)~11月27日(水)



お問い合わせ

子どもの日本語教育研究会「語り合う会 in 東京」担当: 村澤  
y.mura(@)musashino-u.ac.jp ( )を外してご使用ください